

お葬式は、亡くなられた人を 最後のお別れをする

偲び、 大切な儀式です。

そもそも、なぜお葬式をするの？

人はなぜ葬儀をするのでしょうか。

葬儀とは『葬送儀礼』の略で、その人の臨終から死後の喪に至るまでの家族や身内の悲しみなどの一連の儀礼を表しています。

葬儀は形式として儀式を執り行うだけでなく、

残された人が葬送儀礼を行うことで、

その人の死を少しずつ受け入れていく大切な過程なのです。

親族葬って？家族葬とは違うの？

一昔前まではあまり聞きなれない言葉でしたが「家族葬」という言葉は今やメディアなどでもよく耳にするようになりました。しかし家族葬という言葉の明確な定義は実のところ決まっておらず、解釈も人それぞれで様々に違うのが現状です。

家族葬だからといって家族しかお葬式に参列してはいけない、などという事はありません。親族をはじめ、故人の親しい友人や家族以外の故人の死を悲しまれている方々(隣組・地域の皆様等)に参列していただいてもよいのです。

家族葬という言葉のイメージに縛られず、故人の遺志・遺族の想いを尊重し、納得のいくかたちで葬儀を行う事が重要なことと考え、弊社では「親族葬」という呼び方をしています。

葬儀のもつ役割とは…

1. 社会的にその人の死を通知する役割
2. 火葬にするなど公衆衛生、故人の尊厳を守る役割
3. 亡くなった人の霊を送る文化・宗教的役割
4. 悲しみにある人々の心や思いに寄り添う心理的役割
5. 死への恐怖感などを和らげる社会心理的役割
6. 近親者の死を経験、感じることでいのちの大切さを考える教育的役割

親族葬と密葬って違うの？

よく同じ意味にとらえられがちな言葉で「密葬」という言葉があります。厳密に言うと密葬と親族葬とは異なる葬儀となります。密葬とは密葬後に本葬やお別れの会が行われる事が前提としてあります。親族葬は明確な定義が実は決まっていません。内容や流れなどは宗教者としてしっかりと相談の上決められるのが望ましいでしょう。

Q ちょっと聞きにくいけど 大事な質問 & A

Q 親族葬は
一般のお葬式
より安いのか？

A 葬儀にかかる費用は
一般葬に比べ
抑えられますが、
「お香典」も
少なくなります

親族葬は参列者を限定しますので、一般のお葬式より料理や返礼品などの接待費の軽減ができます。しかし、相互扶助の役割を果たしている「お香典」も参列者同様減りますので、実際の支払額は多くなってしまう場合があります。

気になることがございましたら、
裏面のお問い合わせ先まで
お気軽にお問い合わせください。



親族葬の 良いところ・気をつけたいところ **ま** **と** **め**

良いところ

- お客様に気を遣うことが少なく、故人と接するお別れの時間をゆっくりと過ごすことができる
- 形式にとらわれない遺族の想い、故人の遺志を優先したお見送りができる

気をつけたいところ

- お葬式が終わってから、亡くなったことを知った人たちが長期的に自宅を訪れ対応に疲れる場合がある
- 親戚や地域の慣習に合わずもめてしまう
- 負担額が増えてしまうこともある
- 身内だけで行いたいという意思が伝えきれず予想以上の弔問客が来てしまう

お知らせする方や参列する方を親族葬だから…と限定してしまったがために「なぜお葬式に呼んでくれなかったのか?」「知らせてほしかった…」などと、やり場のない想いをあびせられる場合もあります。特に遠方にお住まいの場合「義理を返すのが難しい」「葬儀のお手伝いをいただくのが申し訳ない」と親族葬を検討される方もいらっしゃいますが、ご縁のあった方は「今までお世話になった分を返したい」と思っているかもしれません。

やり直しのきかない大切な儀式ですから、「流行っている、安く済む、手軽だから」という理由で決めず、家族や親族、地域、友人の方々にとって後悔のないよう、利点と留意したい点を理解した上で決めていくことが大切です。

弊社では皆様のご希望を伺い、最も良いかたちで心のこもったご葬儀をご提案いたします。お気軽にご相談ください。

